## 「 社会福祉基礎 」学習指導案

千葉県立松戸向陽高等学校 教 諭

- 1 日時・場所 平成26年1月17日(金)3時間目・1年6組教室
- 2 学 級 1年 6組
- 3 学 級 観
- 4 教 材 観 「社会福祉基礎」(実教出版)

少子高齢化が急速に進む日本において、自分の生活はもちろんのこと、家族や親戚の介護問題に直面する時が必ず訪れ、その期間は長期化する傾向にある。その時に自分の考えの基礎となるもの、基礎的な知識を身につけていることが必要である。これからの日本を背負っていく生徒たちに、高齢者の暮らしや生活について興味を持たせ、自分自身のことも含め「年を重ねていくこと」にプラスのイメージを持たせたい。また、社会保障を学ぶことで、勤労・納税や共生することの重要さに気づかせ、自身の生きる力や困っている人を助ける基礎的な知識を習得させる。

- 5 単 元 名 家族介護と社会保障制度
- 6 単元目標・介護が必要な状態とはどのようなケースがあるのか理解する。
  - ・生活上での困ったことに対し、介護保険がどのように利用できるのか理解する。
  - ・社会保険の基本的な役割を理解する。
- 7 指導計画
  - (1) 高齢者と高齢社会・・・・・1時間
  - (2) 家族介護と社会保障制度・・・2時間(本時1時間/2時間)
  - (3) 介護保険制度・・・・・・2時間
  - (4) 公的年金制度・・・・・・2時間
  - (5) 認知症・・・・・・・・2時間
  - (6) 車いす体験・・・・・・2時間

## 8 単元の評価規準

1 / = 1011111111111111111111111111111111			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
介護が必要になる状	高齢者の抱える課題	教科書や事例から,	社会保障制度の基礎
態について関心を持	について考え、意見を	社会保障の意義を理解	的な知識を身に付け、
ち、主体的に学ぼうと	発表できる。自分が将	し,今後役立つ情報を	どのような時に必要と
する態度を身に付けて	来どのようにサービス	選択し、身につけてい	なり、活用するか理解
いる。	を利用するか考える。	る。	している。

- 9 本時の授業
  - (1)授業名 「家族介護と社会保障制度」
  - (2) 本時の目標
    - ・事例をよく考え、抱えている生活問題について考える。
    - ・社会保障制度の基本的役割を理解する。

## (3) 本時の授業展開

展開(配当時間)	学習内容	学習活動	指導方法と留意点
導入 (10分)	・授業開始の挨拶・出欠確認 ・身だしなみ・持ち物確認 ・前回の授業の振り返り	・授業の開始を意識する ・身だしなみ・机上の環境を 整える。 ・前回の学習内容を確認し、	<ul><li>・全員が授業にのぞむ姿勢を整えているか確認する。</li><li>・前回の授業で学んだことが想起できるようにチャレンジテ</li></ul>
	・本時の授業の説明	ノートとチャレンジテストの 内容を見直す。 ・本時で学習する内容を知る。	ストの内容を確認させる。 <b>(関心・意欲・態度)</b>
展開① (15分)	・介護サービスが必要になる 事例について考える ○○家の場合「どうしたら ふだんのくらしのしあわせを	・○○家の事例を基に,現段 階での困ったことは何かにつ いて考える。	・生徒に考える時間を確保する。
	続けられる?」	・年齢や同居,別居などの事実を理解し,家族の生活スタイルや高齢者の行動範囲なども併せて考える。	・マイナスな情報だけでなく, 高齢者と同居する・共に生き ていくことのプラスな情報も 伝えるようにする。 (関心・意欲・態度) (思考・判断・表現)
展開② (10分)	・社会保険とは何か知る 医療保険・年金保険 雇用保険・労災保険 介護保険	・万が一の時に備える,リスクとは何かについて知る。同時に保険について身近な存在であることを理解する。	・例を提示する。 <b>(知識・理解)</b>
展開③ (10分)	・介護保険の概要について知る	・なぜ介護保険ができたのか を知り、高齢者を社会全体で 支える仕組みを理解する。	・机間指導を行い,生徒の学 習状況を確認する。
まとめ (5分)	・本時の内容の確認・ノート点検	<ul><li>・本時の学習内容を見直しながら、チャレンジテストに取り組む。</li><li>・板書で抜けている箇所がないか確認する。</li></ul>	・社会保険について理解できたか発問し確認する。 (知識・理解)